

特定非営利活動法人 日本グリーンビルディング協会

●背景・目的

建物に関わる異なる業種の人たちが互いに情報を交換し、地球環境保護と負荷低減のためにやれること、やるべきことを模索し、少しでも具体的な行動に出たいという思いから、平成10年(1998年)に当協会を発足させ、それに先立つ形で「第1回地球環境グリーンセミナー」を開催しました。

協会は、以下の4項目を主目的として活動しています。

1. 環境の保全を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. まちづくりの推進を図る活動
4. 国際協力の活動

「地球環境に良い建物を作る」ということを主目的として設立された後、「いかに作るか(ビルディング)」という「ハード」の側面だけでなく、「いかに住まうか(リビング)」という「ソフト」の側面に焦点を当て、一般市民・県民が「環境」というグローバルな問題に関心を持ち、問題解決に向けた行動をとる機会を提供できればと思いで、活動を展開しています。

当初、「任意団体」としてスタートし、2002年に特定非営利活動法人(NPO 法人)に発展し、より広域な環境活動の実践を目指しています。

●概要

事務局を愛知県名古屋市の置き、異業種会員及び個人で構成され、国内企業、個人の環境保護活動の実例を紹介し、又、海外との情報交換や国際交流を通して、日本と世界との環境保護活動の情報ネットワークを作り、地球環境保護及びその唱道に寄与することを目的として、不特定かつ多数の人々に対して、建物の建設及びその運営、廃棄に起因する全ての環境負荷低減の実現のための示唆、及び環境を配慮した個人の生活行動規範となる指針を示す事業活動を行っています。

特定非営利活動に係る事業としては、以下の5項目を活動テーマとして掲げています。

① 環境負荷の低減や地球環境保護に関する提言と実現

(セミナー、イベント、ニュースレター等を通じて、一般市民・県民への環境問題認識と解決のための手法、情報の提示)

② 地球環境保護に関する意識向上活動及び啓蒙活動

(2000年2005年「環境アンケート」の実施と結果発表、環境イベントの開催、ニュースレター発行)

③ 外国人講師による地球環境セミナー・国際シンポジウムの主催

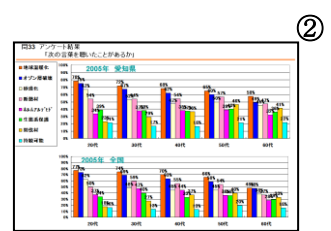
(「地球環境グリーンセミナー」～地球環境保護を考え、行動するためのシンポジウム～の開催)

④ 本会が定めるグリーン鑑定士、他による建物査察(グリーンコミッション)

(「地球環境によい建物」の実現の視点に立った、建物(公共/民間)環境配慮の実施・運用面の評価)

⑤ 環境活動発表会の開催

(企業の地球環境保護への実施活動の成果、商品の発表)



- ◆1997 年以來「地球環境グリーンセミナー」において、海外（アメリカ、スペイン、オーストリア、中国内モンゴ）から合計 17 名、国内 4 名の講師により、各国での環境問題やグリーンビルディングへの取り組みを紹介する場を設け、建築業界関係者、他業種の人々が知識・意見を交換する機会を作ってきました。
また、一般市民・県民がグローバルな視点で建物と環境との係わりを理解し行動を奨励する機会を提供しました。 1997 年以來開催：計 5 回／参加者：延べ 3,460 名／5 都市（東京、名古屋、大阪、広島、福岡）

記念講演会；環境問題の基本的解決につながる知識の供与。

1998 年以來開催：計 7 回／参加者：延べ 約 1,040 名／4 都市（東京、名古屋、高知、鳥取）／講師：延べ 9 名（内 外国人講師 3 名）

- ◆ 2000 年 4 月のアースデイ 30 周年にあたり、アースデイ「2000 年地球の日」フェスティバルを名古屋で開催しました。屋内会場（中区役所ホール）では記念スピーチ、バイオリン・セラミック楽器演奏会、バレエ発表会、環境劇演劇を、屋外会場（テレビ塔下）では、「世界はひとつ」をテーマとし、2,500 人がサインした 40 枚をこえる環境の旗を横につなぎ展示公開、各企業の環境商品発表展示会、スタンプラリー等の環境ゲームなど、一般の人が誰でも参加でき、環境学習の機会となるイベントを開催しました。また同時に、本場アメリカ・ワシントン DC のアースデイを直に体験するためのツアーを企画・催行しました。
- ◆ 2005 年 7 月には愛知万博に際し、「世界生活・環境向上大交流会」を開催し、「Green Building & Living のための国際交流」をメインテーマとして掲げ、名古屋市会場では外国人講師を招いての講演会、企業環境取り組み発表会、地方自治体環境ポスター展示会（42 自治体、99 枚）、万博会場では外国人留学生及び一般外国人による 21 名の海外環境事情プレゼンテーションと意見交換会、和太鼓演奏会、ダンスイベント等を行いました。
- ◆ 2000 年と 2005 年に「地球環境と生活のアンケート」を実施し、幅広く一般市民・県民の環境に関する日常生活の行動及び関心を調査しました。同じ質問項目の回答から、5 年の経過でどのように環境への意識が変化し向上したか、また世代、性別、地域による差異から今後どのような環境活動や施策が必要かつ有効かを知ることができました。その結果を 2000 年はテレビ塔下もちの木広場で、2005 年は愛知万博会場地球市民村で公開し、又ニュースレターの中で発表しています。
2000 年回答数：計 3,113 人（全国合計）／2005 年回答数：計 8,727 人
（内、愛知県 3,436 人）、オーストリアからの回答：64 人

- ◆「グリーンコミッション（建物環境査察）」による既存建物（民間 3 施設、公共 2 施設）の環境負荷低減効果の検証を第 3 者機関として実施し、これにより、各施設において実現された環境負荷低減の実状を定性的、定量的に評価し、課題と考えられる事柄の指摘を行いました。地球温暖化抑制に寄与する CO2 排出量削減のための具体的な提案をしています。

- ◆ニュースレターの発行；会員に限定せず、一般市民・県民、地方自治体他への環境情報の広報活動。
1998 年以來、毎年 2 号ずつの発行と配布を継続。発行：計 18 号

●先進性・独創性

- ◆1998 年 3 月に日本で始めて「グリーンビルディング」の考え方を公式に推進する団体として発足しました。
その後、その活動を一般市民生活行動まで広げ、「グリーンビルディング&リビング」としました。
- ◆当初より、「地球環境グリーンセミナー」を通じて、当時日本ではあまり知られていなかった海外の環境事情の紹介や「地球環境に良い建物」建設・運用の必要性、重要性を知らしめ、実現手法を具体的に学習する機会を提供してきました。
- ◆2000 年、2005 年に環境と日常生活の関係を探る同一質問の「環境アンケート」を実施、経年による環境意識の浸透の変化、地域・性別・年代による相違を分析し公表。質問書を多国語（英語、ドイツ語、スペイン語、中国語）に訳して、2010 年には世界からの反響を得ることを図っています。
- ◆日本留学中の外国学生を中心に発展した「ワールド スチューデント・エコリーグ」を推進中です。

